

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度第1回朝霞市防犯推進計画会議	
開催日時	令和6年6月4日（火） 午前・ 午後 2時00分から 午前・ 午後 3時00分まで	
開催場所	ゆめばれす 301会議室	
出席者及び欠席者の職・氏名	<出席者10名> 金子会長、渡辺副会長、市ノ瀬委員、生方委員、大橋委員、新庄委員、大畑委員、菅原委員、松井委員、中村委員 <欠席者5名> 小野委員、蛭原委員、松下委員、井口委員、佐々木委員 <事務局5名> 千葉危機管理監、小野澤副審議監兼危機管理室長、千葉係長、高橋主事、山本主事	
議題	・近年の犯罪発生状況 ・第4次朝霞市防犯推進計画について	
会議資料	「近年の犯罪発生状況」、「第4次朝霞市防犯推進計画」、「第4次朝霞市防犯推進計画実施計画（令和6年度）（案）」、「第4次朝霞市防犯推進計画実施計画【令和6年度】事業概要一覧」「朝霞市防犯推進計画会議委員名簿」	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☒ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☐ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☒ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 委員による確認	
傍聴者の数	0名	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

議題（１）【近年の犯罪発生状況】

○事務局説明（山本主事）

<委員から意見・質問>

（菅原委員）

刑法犯認知件数が 7 9 1 件とあるがどういったものがあるのか。

（山本主事）

7 9 1 件の中には表 3 の街頭犯罪認知件数も含まれており、自転車盗が 2 4 1 件と多くなっている。

（菅原委員）

表 6 子どもに対する声掛け事案の発生認知件数があるが、実際に犯罪や事件につながったものはあるのか。

（松井委員）

事件になったものはなかった。すべてが不審者というわけではなく、子どもの見間違えや見知らぬ人から挨拶されたなどということで警察に通報が入ったものも含まれている。

（金子会長）

親しみを込めたボディタッチも痴漢行為になってしまう可能性がある。

（中村委員）

小学生からあいさつがあれば返せるが、知らない子どもへの声かけは迷うところがあり、会釈のみで声をかけることはしていない。

（大畑委員）

非行防止のために声をかける場合、かけない場合の判断はなにか。

（市ノ瀬委員）

犯罪の入り口に向かせないということで声掛けをしている。講師の方から聞いた話によると、コミュニティがある街は犯罪が少ないという話があり、コミュニティが切れてくると犯罪に走る可能性がだんだん高くなってくる。ボディタッチは極力しないようにしている。

（生方委員）

学校の帰り道で声をかけると返事が返ってこないことがある。大人に声をかけられることが怖いと思っている子もいる。声をかけすぎても子どもの負担になってしまっているのではないかと思うこともある。

議題（２）【第４次朝霞市防犯推進計画について】

（令和５年度の実績と令和６年度の目標の確認）

○事務局説明（山本主事）

<委員から意見・質問>

（金子会長）

高齢者を狙った振り込め詐欺等の防止対策として通話録音装置貸与とあるが、老人会等での周知を行っているのか。

（山本主事）

自治会、町内会等への周知を行っている。

(新庄委員)

振り込め詐欺は件数としては減少しているが、まだまだあるという感覚。例えば、年度末は「保険の還付金がある」等でATMへ誘導される。ATMコーナーで携帯電話を使用している人に対しては声掛けを行っているが、窓口が閉まった後に誘導されることがある。窓口で大口の現金の引き出しを依頼された場合、使用目的等の聞き取りし、振り込みにするよう案内している。それでも現金での引き出しを希望する場合には、警察と交えて話しをする。

(渡辺副会長)

社協では、放課後児童クラブを運営しており防犯教室を行っている。声掛け事案に対しても、悪意を持って声をかける実演を行っている。声をかけられることは怖いという認識を持ってしまうところもあると思う。

(金子会長)

朝霞わがまち防犯隊と地域防犯推進委員の違いはなにか。

(山本主事)

朝霞わがまち防犯隊は、町内会等で防犯隊を結成しており、その中で地域防犯推進委員も兼任されている方もいる。

(金子会長)

地域防犯推進委員はどのような活動をしているのか。

(千葉係長)

地域防犯推進委員は町内会を通して委嘱しており、地域の防犯パトロール等の活動を行っている。

(大橋委員)

過去の児童の連れ去り事件等があり、警察と一緒に各小学校で防犯教室を過去に行っていたことがある。所属している町内会では、警察の方に防犯に関する講演を行ってもらった。他の町内会でも行えるといいと思った。

(松井委員)

現在の犯罪発生状況について、暫定値であるが4月までの市内の刑法犯認知件数は279件であり、前年度の同じ時期は220件である。朝霞市が3市の中でも突出して増加している。主に増加しているものとして、暴行事件11件、自転車盗19件、詐欺11件である。朝霞市内は振り込め詐欺が多く発生している。警察の対策として、警察車両で音声を流しながらパトロールを行う、市役所に情報提供し防災行政無線で注意喚起をするなどをしている。7月には直接市民に呼び掛けるために、個別訪問を行う予定である。振り込め詐欺の対策として、犯人と話さない状況を作ること、在宅中でも留守番電話に設定しておく等を伝えている。警察でも電話で警告メッセージ流せる機器の貸し出しを行う予定である。自転車盗について、刑法犯の約3割を占めているといわれている。警察としても、自転車盗対策に取り組んでいる。自宅の敷地内に無施錠で停めている自転車が盗まれるパターンが全体の約7割であり、鍵を閉めてもらうことで防げる犯罪である。

(菅原委員)

通話録音装置貸与台数が朝霞市全体で42台というのは高齢者の数に比べて少ないのではないかと。周知が足りないのではないかと。申込書があるのか。

(小野澤副審議監兼危機管理室長)

申込書を提出してもらう必要があり、機器の貸し出しを行っている。

(金子会長)

これで、本日の議題は全て終了とさせていただきます。

以 上